

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(754)1111
担当部課名	土木部	道路整備	課	まちづくり道路
事務事業名	椅子のあるみちづくり事業		事業コード	35110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	輝き魅力あるまちづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	輝き魅力ある都市の創造	11年度
施策名	第1施策	都市の効果的な演出	

2 実施根拠及び関連法令等

道路構造令、道路法
-----------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
ゆとりと潤いのある市民生活の実現など生活環境に対する社会的な要請も高まる中で、高齢者の増加などさまざまな歩行者の多様な利用形態に対応し、快適性、やさしさ、交流などの観点からベンチ等を設置する。		高齢者を中心とした歩道利用者	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
椅子のあるみちづくり事業		身近な公共空間へのベンチ等の設置により、相模原21世紀総合計画のリーディングプロジェクトのひとつである「椅子のあるまち」づくりを推進する	
事業年度	設置基数   設置箇所(重点整備地区)		
平成11年	10基   市道市役所前通	(5) 個別計画の概要	
平成12年	7基   市道市役所前通		
平成13年	10基   市道市役所前通		
(平成13年度事業費 C = 6,000千)		計画名	
		計画年次	年度 ~ 年度

4 評価指標

指標名	当該計画の整備地区におけるベンチ設置箇所の達成率		
指標式	ベンチ設置箇所/目標ベンチ設置箇所 (整備歩道延長/300) × 100		
指標設定の意図	整備歩道の延長約300mに1ヶ所の割合でベンチを設置するということを数値目標にその達成率を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100.0	100.0	a 100.0	b 100.0	100.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	6,000	6,000	6,000	3,600
	人員・時間数	(0.3人)	(0.3人)	(0.3人)	(0.3人)
	人件費	2,526	2,526	2,526	2,526
	その他経費				
	合計	8,526	8,526	8,526	6,126
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%> )	
$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由:	事業前に定めたベンチ設置箇所数の目標値を達成することができたため	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A:適応している	理由: 高齢者化社会の進展など様々な歩行者の多様な利用形態に対応し、やさしさ、交流などの観点から時代変化に適応した事業である
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A:妥当である	理由: 費用対効果は一概には推し量れない
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由: 市道の整備工事なので、市が実施することは妥当である
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A:満足できる	理由: 高齢者を中心にベンチを利用している。やすらぎや語らいの場としての空間を整備することができ、市民の満足を得られた
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A:有効である	理由: 時代変化に応じた事業で整備施設も多々利用されており、有効な事業だと考えられる
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: コストを抑え、準備期間を短縮する
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 材料費の低減の余地はある

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

身近な公共空間へのベンチの設置により、やすらぎや語らいの場を創造することができた。ゆとりとうるおいのある市民生活の実現という社会的なニーズに対し、効果のある事業を行うことができた

8 二次評価における変更点

・事業のあり方及び維持管理等について、見直す必要がある。